

平成30年度第5回社会教育委員の会議

平成30年10月22日(月)

午前9時30分開会

開催日時	平成30年10月22日	開会 9時30分 閉会 10時57分	
場 所	小金井市役所第二庁舎8階801会議室		
出席委員	議 長 小山田佳代 副 議 長 原田 隆司 委 員 石原 芳 委 員 首藤 由憲	委 員 石田 静子 委 員 城 瑞枝 委 員 長坂 寛 委 員 柴田彩千子 委 員 福井 高雄	
説明のため出席した者の職氏名	生涯学習部長 藤本 裕 生涯学習課長 関 次郎	図書館長 菊池 幸子 公民館長 西村 直邦	
事務局	生涯学習係長 小堀久美子 生涯学習係 佐藤 優子		
傍聴者人数	1名		

日程	議 題	
第 1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 会議録の承認について (2) 小金井市の地域学校協働活動について (3) 第3次小金井市生涯学習推進計画の評価について（平成29年度分） (4) 平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第5ブロック研修会について (5) その他
第 2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 小金井市公民館中長期計画策定スケジュールについて (2) その他

小山田議長

それでは、お時間になりましたので、始めたいと思います。

皆様、おはようございます。

それでは、ただいまより、本年度第5回になります社会教育委員の会議を始めたいと思います。

本日の議題、そして報告、配付資料とあります。次第がございますが、まず配付資料のほうで、事務局からご説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長

本日、お配りしたものを説明させていただきます。

一番上が本日の次第になります。そして配付資料ですけれども、社会教育委員の会議会議録（平成30年度第4回）。次に、「地域学校協働活動～小金井スタイル～」推進について、A4、1枚になります。続いて、地域学校協働活動 地域と学校でつくる学びの未来。こちら、小委員会でお配りしているので、小委員会の委員の方には本日お配りしておりませんが、もしお持ちでなければお声かけください。次に、第3次小金井市生涯学習推進計画の評価について（平成29年度分）の差替分です。続いて、平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第5ブロック研修会。続いて、小金井市公民館中長期計画策定スケジュール。続いて、総合教育政策局の新設（再編の概要）。次に、2018「青少年のための科学の祭典」報告書。最後に、今後のスケジュールについて。

それと、委員の方のみ、その他チラシ等ということで、社協情報ナンバー79。こちら、市で購入したもので、皆さんにお配りしています。次に、社連協会報ナンバー78。次に、とうきょうの地域教育ナンバー133。地域教育スタートアップ講座。こちら、小金井、国分寺、小平、学芸大の連携事業になります。第29号小金井市スポーツ推進委員協議会だより。図書館だより第48号。2018文化財ウィーク通年公開編。同じく2018文化財ウィーク特別公開・企画事業編。

以上になります。

小山田議長

ありがとうございました。

もし何か不足のものがある方は、ございましたら。大丈夫ですかね。いらっしゃらないようですので、それでは進めたいと思います。

では、本日の議題ですが、会議録の承認について、小金井市の地

域学校協働活動について、第3次小金井市生涯学習推進計画の評価について（平成29年度分）、平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第5ブロック研修会について、その他となっております。

では、まず最初に、会議録の承認についてということで、資料が平成30年度第4回社会教育委員の会議の資料ですけれども、こちらのほうを事前にメールで回っていたかと思います。いかがでしょうか。何かご意見等ございます方いらっしゃいますでしょうか。

もしないということでしたら、こちらの議事録で承認をさせていただくということよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

小山田議長

ありがとうございます。

では、こちらの議事録を承認していただきました。

それでは、議題2になります。小金井市の地域学校協働活動についてということで、こちらのほうが、資料が社会教育委員の会議小委員会の報告というものと、その後、地域学校協働活動という文部科学省からの資料ですね。あとは、総合教育政策局の新設というA4、1枚が後ろにあるかと思うんですが、このあたりが資料になります。

それでは説明をしたいと思いますが、これは先日ですね。10月15日に小委員会を実施いたしまして、そこで前回の会議のほうからも話が出ておりました地域学校協働活動について、これまでの研修や議論を踏まえて、今後どういう方向で、この本会議で検討したらいいだろうかということ議論いたしました。

それでは、原田副議長のほうでまとめていただきましたので、原田副議長からご説明をお願いしてよろしいでしょうか。

原田副議長

おはようございます。先週の月曜日に小委員会をやりまして、今お話しのように、これまで何回も議論して、それから研修、あちこちの実態を見てきたりしましたので、それを踏まえて小委員会として、今後どういう議論を進めていくかということを検討いたしました。

それから、お手元に今日配られています文部科学省の地域学校協

働活動、ここにポイントが書かれていまして、特に3ページの一番下に地域学校協働本部立ち上げのプロセスという図が載っていきまして、これなども参考にしまして、小金井ではどういうふうに進めていけるのだろうかということを議論いたしました。

委員の中では、これまで柴田先生のレクチャーもありましたし、議論も1年以上やってきましたので、かなり、もう煮詰まってきたのかなということで、まず、一番上に3点書いてありますが、これを主な項目として確認しました。今後、この委員の任期が来年の8月までありますので、「地域学校協働活動～小金井スタイル～」推進についてというようなタイトルで、教育長宛ての提言をまとめてはどうだろうかということが第1点です。

それから2つ目、これは、いきなりコミュニティ・スクール、学校運営協議会というところまで進むのは現実的になかなか大変なので、そうではなくて、現在、各学校で実施している放課後子ども教室、これをベースにして、ボトムアップで、まずは地域学校協働本部という組織を立ち上げてはどうだろうか。できるところからやってみようというのが2つ目のポイントです。

もう1つは、生涯学習部局として、これの社会教育委員の会議の提言として進めたいんですが、その他の学校教育とか子ども家庭部局と関連がありますので、ここで突っ走るというよりは、3部局と情報を共有して無理のないように相互理解に努めていこうというのが、まず3つのポイントでございます。

これまでの議論を踏まえて、ポイントを5つ挙げてあります。

まず初めに、地域学校協働活動、何のためにやるのかということを通理理解をしましょうということで、まずは、とにかく子どもたちを地域の中で育てようという目的があるんだと。

それから、地域の人学校にかかわりを持つということで、新たな役割を地域の中で大人たちが見出すことができるんだと。地域と学校の連携、協働することによって、子どもたちがより豊かな学びを実現できるんだという、子どもが主役であることが目的でありますということでもあります。

それから、小金井スタイルという言葉が、これまでの議論の中からも出てきました。研修を見ても、やはり、それぞれの地域の成り立ちとか、学校の現状とか、それぞれ地域の実情に応じたやり方があるんだということを確認しましたので、我々も小金井市の学校、小

金井市の地域のどういう現状なのかということをしっかり踏まえて、小金井のスタイルをつくっていかうということでもあります。

そういう中で、小金井の特徴は東京学芸大学があるということ、とにかく専門の大学でございます。教育の支援とか教育課程というところで学ぶ学生がたくさんいます。先生方もいらっしゃいますので、そういう学生さん、あるいは先生も含めて教育活動の現場に参加してもらい、力をかしてもらいというのが、これも1つの小金井スタイルの特徴ではないかということでございます。

それから3番目、それでは今現在、小金井はどういう現状かということで、一番明らかなのは市内の小学校区9区全区で放課後子ども教室の活動を実施しているということです。それぞれの校区で濃淡はありますが、全校区でこの活動を実施している。地域の大人たちが子どもたちを支援しているという現状があります。

ということで、この子ども教室が子どもたちの放課後の居場所づくりになっているし、それから、いろいろな年代の子どもたちや地域の大人たちと、家族以外の大人たちとの交流もしているということで、いろいろな価値観を学ぶ機会になっているということでもあります。そこには保護者や地域の大人たちがボランティアとしてコーディネーター等へ参加している現状がありますということで、これを大切にしていこうというのが3つ目です。

4つ目、推進に向けてということで、先ほど来申し上げているように、放課後子ども教室の組織や人材をベースにして地域学校協働本部の設置を進めてはどうだろうか。それから、地域学校協働本部。私たちも1年、2年、議論していて、ああ、何か取っつきにくいという印象があったり、一体どういうものなんだろうと、わからないところありますので。その文部科学省の資料を見ても、この本部の名前は好きにつけていいということが書いてありますので、もうちょっと参加しやすい、やわらかなイメージでつけたらどうでしょうかということで、その際には、子どもが主役であるということがはっきりわかるようにしたらどうなのかということでもあります。

それから、これを進めるためには、やはりお金が必要ですので、補助金活動事業として予算化を要請していくことも大切かなということでもあります。

5番目、最後に、関連部局が連携をして、市民対象の関連講座を

開催して周知、理解促進に役立てたらどうだろうか。いろいろな言葉、コミュニティ・スクールとか、地域学校協働活動とか、一般の市民の方には耳なれない言葉があつて、何かわからないことをやっていますねということにならないように、広く一般市民が参加する講座などをやって、理解の促進に役立ててはどうかと。市民全体を応援団に引き込むということでございます。

あと、ここに書いていませんけれども、議論の中に学校の教員の方の負担が増えてしまつては本末転倒なので、そこには気をつけてやっていきましょうということです。この現実の部分からボトムアップでやっていくというのも、そういうことを考慮したやり方だと言えるかと思います。

以上であります。ごらんいただいて、これまでの議論から、これが抜けているとか、あるいは、これ違うんじゃないかということあるかと思いますが、ご意見をいただきたいと思ひます。

小山田議長

原田副議長、ありがとうございます。ほんとうにすっきりとまとめていただいているんですけれども、小委員会、ほかに参加されたメンバーがいらっしゃいますが、何か補足ありますか。では福井さん、どうぞ。

福井委員

福井です。ここの記載どおりのメモと重複するんですけれども、ここの記載の上から3つ目の星印っぽいダイヤの3つ目で、推進に当たり云々と書かれているんですけれども。これは基本的には我々生涯学習部が音頭をとつて地域学校協働活動本部を立ち上げるようにスタートしたいと思ふんですけれども、横並びの学校教育部及び子ども家庭部の3グループの部局が協働して運営するということからスタートの考え方に必要じゃないかと思ひます。ですから、ここの順序としては生涯学習部の職員中心にスタートせざるを得ないと思ふんですけれども、横断的取り組みということで、この活動を推進したいと思ひます。

書類等をいろいろ見ますと、この地域学校協働活動という言葉自体が、まだ市民及び職員にも浸透していないんじゃないかと思ひます。実際この言葉自体が、平成29年3月に社会教育法が改正されて施行されて、まだ1年半しかたっていないんですけれども、この言葉自体を一般市民にも共有しなきゃいけないんじゃないかと思

います。

それともう1点、先ほど下から4番の下段のほうで補助金の予算化ということなんですけれども、現状、数字的に理解していなかったんですけれども。お手元の地域学校協働活動の14ページ目の上段に書かれているんですけれども、既に国庫補助で65億円近い金額が活動する団体に補助金として出している現状があるということで、活動に対しては国庫負担、各自治体には3分の1の金額の運営だということだと思えるんですけれども、もう5,200か所の地域にて実際活動されていて、補助金も受け取っているということです。小金井市も、その予算化の推進ということで、積極的に取り組みのスタートをすべきですね。予算化の内容としては、地域コーディネーターの謝金というのが中心にならざるを得ないと思うんですけれども、検討して予算化していくという方向性を持たないと、この活動本部の立ち上げという意味は後手後手に回っていくんじゃないかと思います。

それと、もう1点。我々小委員会で検討したのは、あくまでも子ども子どもという言葉が先行したものですから、一応、小学生対象に9小学校のところをアプローチしようじゃないかということなんですけれども、八王子市の例及び日本各地で活動本部を立ち上げているのを読みますと、中学校区を中心に小学校を取り入れるという形で活動されているという地域もあります。たまたま我々の小委員会では議題にならなかったんですけれども、9年間一貫通貫で、この地域活動、協働活動をやっていく地域もあったということで、今後その辺も踏まえまして、小委員会でさらに検討していかなきゃいけないんじゃないかと思っております。

以上です。

小山田議長

ありがとうございました。

あとは、柴田委員もいらっしゃったので、補足ありましたらお願いいたします。

柴田委員

原田委員、的確にレジュメとしてまとめていただきましてありがとうございました。レジュメの1番の丸の2つ目ですけれども、この地域学校協働活動というのは、子どもの学びのために私たちが力を尽くすということなんです、もちろん子どもの学びや、子ども

がその地域に愛着心をより持って、特色のある小金井市の学校教育活動に取り組むことができるということを前提としながら、この1番の丸の2つ目の、大人もそこで学ぶということを私たちの社会教育委員会では重視している、議論を小委員会では展開してきましたということをご報告いたしたいと思います。

小山田議長

ありがとうございました。

では、石田委員はまた後ほどご意見いただくとしまして、今お話があったような形で、小委員会のほうではわりと長い時間議論をしまして、このような形でまとめました。今後、今期の中に提言というような形でまとめられたらなというのがあります。これまで、こういった小金井市生涯学習支援センター創設へ向けてですとか、小金井市生涯学習センター機能の実現に向けてという提言書が出されているんですけども、どんな感じのものかというのは、大体A4でほんとうに2枚とかぐらいにまとめられているようなものになるんですけども、このようなものが最後、8月の段階で、この期のまとめということで出せたらいいなというぐらいのスケジュールで、いろいろ皆様のご意見も伺ったりしながら充実したものに最後、仕上げていけたらとは思っております。

実際、放課後子ども教室、石原委員は運営委員されておりますけれども、私も前期のときにやらせていただいております、放課後のコーディネーターさんもたくさんいらっしゃいまして、ほんとうに活動が充実されているので、何か小金井の場合は、そこからベースとなって。ただ、絶対そこからとなると、いろいろなコーディネーターさんがいらっしゃるの、なかなか難しい面もあるかもしれないんですが、ベースは放課後子ども教室のコーディネーターさんや皆様方をベースにしたらいんじゃないかと議論が出ていたんですが、その点、石原委員は、いかがお考えでしょうか。

石原委員

石原です。ここ数回、放課後子ども教室のほう出られていないんですけども。毎回出るごとに、コーディネーターさんがいらっしゃるから運営がよく回っているんだなというところはすごく感じるんですけども、ただ、コーディネーターさんのほうも、次につなぐための、次の人材を確保するのがすごく大変だと言っているところをよく聞くので、そういったところでは、地域をどう巻き込ん

でいくのかということ、ボランティアとして参加している以上、どこまで強制的に人を呼び込んでいくのかということところがすごく、これを実現していく上では、人材というところが一番重要なのかなと思うので、今ある現状をどのようにボトムアップしていくかというところで、やはり人材の確保というところは、今、働く親御さんが小学校の中でも増えてきている中で、どういうふうにこっちに引き込んでいくのかということところは、もう少し周知活動とかも取り入れていかないと、皆さんに理解していただいて活動に参加していただくことは難しいのかなということ、学校側が地域の方を呼びたくても、どうやって手を伸ばしていけばいいのかということも、うまく協力してやっていけないところが現状なので、そういったところも考えつつ、どちらにもうまくいくような感じでやっていくのがいいのではないかと思います。

以上です。

小山田議長

ありがとうございました。今ご意見いただいたとおり、ほんとうに人材をどう確保していくかというような部分で、小金井では、いろいろな市民団体もありまして、いろいろな活動をされていらっしゃる方もいらっしゃるの、保護者の方だけではなく、やはり地域で活動している方たちを、どううまくコーディネートしていけるかというところが、この地域活動の学校協働活動本部というところになるのかとは思いますが。

そういったところで城委員、お花の関係をやっていらっしゃるんですけども、今までも学校とかで活動されたことがあると伺っているんですけども、このあたりはどうですか。地域のいろいろな団体が学校とかかわるといってところですけども。

城委員

学校のほうで、学校の授業とクラブ活動で関わったことがあります。学校の授業とクラブ活動で、私立なんですけれども、15年ほどやっておりまして。それは私立の学校だったので地域とのかかわりはなかったんですけども。同じお花で、小平のほうだと思っておりますけれども、学校に入って、小学生を対象に月に1回そういう授業の中に取り入れていただいて、子どもたちにお花を扱うということがほとんどないので、そういうのを取り入れていらっしゃる場所もあるので、そういうのも子どもたちに実際に植物に扱い、どう

いうふうに扱えばいいか、それにも命があるという感じで教えていて、かかわっていけるのがあればいいかなと私も思っています。

結構生け花の中では、授業でやっているところは少ないんですね。クラブ活動はあるんですけども。実際に学校で教えているときに、最後に生徒たちに感想を書かせるんですね。そうすると、いろいろな意見が出て、すごい私も参考になったんですけども。今までさわったこともなければ、水を放っておくと、そんなにすぐ枯れるということもわからなかったし、何か部屋に花が1輪あるだけでも気持ち落ちつくということ、高校生なんですけれども、書いていたので、あっ、こういうを感じる力も出てきたんだなというのがすごく印象に残ったので。この学校では小学生対象ですけども、小学生も、やはり植物に触れることで、いろいろな気持ちの落ちつきもあると思いますし、自然の植物には気があるといって、すごくその人を導くというか、やわらかくするというか、そういう作用もありますので、できれば、そういうのがあったら、一緒に協力していきたいなと思っております。

以上です。

小山田議長

ありがとうございました。

では、とりあえず一通り皆さんご意見、今日はいろいろ、雑駁なご意見でよろしいので、このメモとかにつきまして、ご意見いただけたらと思うんですけども。石田委員、この間、小委員会に参加していただいたので、補足等ございましたら、お願いいたします。

石田委員

おはようございます。おくれて申しわけありません。小委員会に出ておりましたので、少しは様子はわかるかなと思いますが。五、六年前になるのでしょうか。緑中の学校の授業の一環として、職業を持っている人たちを招いて、子どもたちを全部8人ぐらいのグループに分けて、各仕事に対して、どのような仕事を選んだのかという意見を聞いて、子どもたちがそれに対する感想を述べるという授業を何年かしておりました。そのときに私、茶道をやっておりますので、その関係で、その分科会に何回か行きて、いろいろな話を子どもたちとしていたんですけども。それがこのごろなくなっているんですけども、そういうコーディネーターの人たちが、中学2年生を8人ぐらいの人数に分けたところに全部1人ずつつくようなや

り方だったんですね。それで、美容師さんや、いろいろな方たちが来て話をしていたので、そういう土台が少し地域の中にあっただろうんです。ですから、そういうものも、それから放課後子ども教室で子どもにじかに接している人たちの中から、そういうピックアップしてという、希望を問うていく。そして、こういう活動の提言をしたいということをPTAのほうにも社会教育委員から話をして、こんなことを考えていますというようなアピールもするべきではないかなとは思っておりました。今回の話の行く先がどこへ行くかわかりませんが、ちょっとそんな気持ちを持っておりました。

小山田議長

ありがとうございました。

そうしますと、首藤委員はいかがでしょうか。子どもというところも踏まえて、また何かご意見ありましたら、お願いします。

首藤委員

小委員会、ほんとうにご苦労さまでした。まとめていただいて、ありがとうございます。

我々としてやるべきことのテーマを提言するということについては賛成です。

私はちょっとわからないところがあって教えて頂けるとありがたいのですが。初歩的な質問で申し訳ありませんが、最終的なコミュニティ・スクールとして設立するというタイムスケジュールは、今どういうふうになっている。誰が、あるいはどこのセクションで決めて、ゴールは今どこにあるのかというのは、ちょっとわからなくて、教えていただけるとありがたいです。

小山田議長

私がというのもあれですけども。後でちゃんと部長のほうにお伺いできたらと思うんですけども。今、小金井市の中では、どうしようかというぐらいな感じなのではないかと思うんですけども、ただ、もう周りの、この周辺の市も、学校の支援本部をやりつつのコミュニティ・スクールを始めているというところで、コミュニティ・スクールになるというのが最終的なものだと思います。今もう努力義務化されているということもあるので、いつかはコミュニティ・スクールを、やはり始めなければいけないのではないかとこのところには施策としてもあると思うんですが。ただ小金井の場合は、多分いきなりそこを始めても、まだコミュニティ・スク

ールとはどういうものかとか、地域学校協働本部もどういうものかということもあまり、市民もそうでございますし、いろいろなところでもわからないというような状況が小金井市かなと思います。

数年後を目指してというような形で、コミュニティ・スクール化のほうは目指すべきだとは思いますが、結局、コミュニティ・スクールを始めても、実際それを活動として推進できる、そういったネットワークがないと、コミュニティ・スクールになっても、ただ議論しているだけで終わって。そうすると、今の学校運営協議会と何も変わらないという状況なので、実働部隊をつくる先に、そういったことをつくっていった上でのコミュニティ・スクールに行けるとスムーズに、コミュニティ・スクール化も無理なくできるのではないかとこのころで、社会教育委員のほうでも、これまでも結構何回も実は視察に行っておりまして、小金井スタイルとしては、いきなり多分コミュニティ・スクールは無理じゃないかというところ、まず地域学校協働本部のほうを推進していけばいいのではないかとこのころでの話で今進めているところなんです。

こちらの文科省の資料が結構ほんとうにいろいろわかりやすくまとめてくださっている資料で、実際、先ほどもありましたが、3ページの下のほうの順番にそって、立ち上げていけばいいんじゃないかと思います。今の段階は、小金井市の場合は、まだ一番左かなと思ひまして。今、社会教育委員のほうからも、PTAや各保護者の方や、また学校のほうですとか、周辺のいろいろなところに整備をするような提言をしていくという、まだほんとうに一番左の段階で、その後、それを踏まえまして、行政としてはどう動いていくのかというのは、ほんとうにこれからなのではないかと思うんですけれども。ただ、ほんとうに施策としても、もう進めていかなければいけない1つになっているのではないかと思うんですが、行政のほうとしてはどうかというのは、では済みません、部長に振ってまいりますけれども、いかがでしょうか。

藤本生涯学習部長 やはり議長がおっしゃったとおりなんですけれども、現在において、教育長も交えて、コミュニティ・スクールというところについては検討をしてくれているところです。それで、この間も、いろいろ視察等を行ってきたという経過があります。

それで、現時点の考え方なんですけれども、枠組みとしましては、

1つとしては地域の教育力が十分にある小金井では、いわゆる地域協働体をつくるためのコミュニティ・スクールは必要ないということ。2点目としましては、学校と地域だけの協働ではなく、学校、放課後子どもスクール、学童、子供会等の連携を踏まえた新しい協働体が必要なこと。また3点目としまして、その子らしさを最大限に伸ばす教育を実施するため、幼児の幼、保育の保、小学校、中学校連携を視野に入れた学びの場、ネットワークづくりが大切であること。4点目として、安心して子育てができる親同士の情報交換の場が必要なこと。以上4点を踏まえて、今後コミュニティ・スクールについては検討をしていきたいと考えているのが、現在の教育委員会としての考え方でありまして、社会教育委員の会議のこちらの検討内容とかも踏まえながら今後、取り組みについては検討していきたいというのが現時点の考え方です。

小山田議長 ありがとうございます。では、首藤委員、いかがでしょうか。

首藤委員 現状はよくわかりました。ただ、ゴールにコミュニティ・スクールを、形はいろいろな形を工夫するにしろ、置くという前提があるのであれば、プロセスの計画をいつまでに決めるのかということも、明確にして進めていかないと、なかなか具現性を持って進んでいかないのではというのが私の素直な感想です。

小山田議長 ありがとうございます。社会教育委員としては、こういう形かどうかという提言しかできないと思うので。最終決定は、やはり教育委員会のほうにお任せするということになると思うんですが。

原田委員 小委員会でも、たしか議論出たと思うんですが、コミュニティ・スクールということになると、学校の運営にかなり市民がかかわって、人事とかということにもかかると。それから、それなりに会議が増えて教員の方の負担も増えてくるだろうということで、まずは、それはゴールにする必要ないのではないかという方向でした。次の段階ということで棚上げといいますか。むしろ実質的に子どもと地域学校と地域のためになる協働本部をきちっと組織化して、やっってはどうかと。

先ほど石原委員からもありましたように、コーディネーターの役割が大きくて、その人材確保がポイントだということですから、その地域学校協働本部の一番の役割は、どこにどういう人がいて、どの人だったらやってくれて、その次はこの人だということを長期的に考えるという役割が一番大きいのかなと私は思っています。

小山田議長

ありがとうございます。

今、ちょっと市の状況も伺えたと思うんですけども、ほんとうにさまざまな方たちが地域学校協働本部には入ってくるということで、それこそ、この文科省の3ページにありますけど、今度、上のほうですね。構成員のイメージということでいきますと、この推進活動の推進員やPTA役員、公民館長、自治会、商工会議所、青年団、婦人会、農業委員、民生委員、社会福祉協議会、放課後児童クラブ担当者、まちづくり協議会、大学の有識者、NPO代表等とありますが、こういったイメージになってくるのではないかと思います。これらの皆様も、小金井市の皆様は、まだ地域学校協働本部ですとかコミュニティ・スクールということをあまり深くご存じないんじゃないかというのは、ほんとうに実感している、お話ししている中で感じますので、まずそういった、こういったものなのかという、周知するのも、社会教育委員の1つの役割というのものもあるのかなと思います。

今後、一応、私たちの中でのゴールを、日程を決めまして、それで、今日もご意見出ましたけれども、もうちょっと膨らませていけるのかなというところで、もう一度、小委員会に持ち帰りまして、ちょっとブラッシュアップして、次回にブラッシュアップしたものを持ってきつつ、またご意見いただいてというのを一、二回繰り返して、最終的に8月には提出できるようにできればいいのかなと思います。

あと、やはり現場というか、小委員会に出ていましたのでは、放課後子ども教室がベースというふうなお話もあった中で、実際、放課後子ども教室って、どういうふうに、どんな感じでやっているのかというのを、実は社会教育委員の皆さんも御存じではないんじゃないかというご意見が出まして、実際、学校でどういうふうに活動しているのかを見学に行きたいという話が出ております。これは、もし可能であれば、放課後子ども教室の実際活動する日程で見学行

ってもいいよというところがありましたら教えていただいて、社会教育委員として視察とか見学に。小金井市内を実際見たことがないということで、いつも他市とかに行っているの、そういった見学会をしたらどうかという意見もあったんですが、皆様、その点はいかがですか。ご都合が合えばということでどうでしょうか。

9小学校で、いろいろな取り組みで、ほんとうに各小学校さまざままで、日程もばらばらですので、何かスケジュールがわかれば教えていただいてというようなことで、事務局から、よろしいですか。

小堀生涯学習係長 各学校、何日にこういうのをやりますということを書いた予定表がありまして、そちらをお配りさせていただきます。できれば事前に、何日の何小に行きたいというのは、前日まで、どうしてもでしたら当日の午前中ぐらいまでにはご連絡いただきたいと思えます。

小山田議長 はい。

原田副議長 全然知らないの、教えていただきたいんですが、どこの学校で何日の何時からやっていますよと。社会教育委員としてじゃなくて、一市民のおじいさんが来ましたというのは受け入れてもらえないんですか。近所のおじいさんが見に来ましたというのは。あらかじめ、やはり行きますよと言っておかないといけない。

小堀生涯学習係長 そうですね。基本的には、例えば新しくお手伝いをしたいとかという方がいらっしゃる場合でも、連絡してから行ってもらいます。いきなり、あまり知らない方が勝手に見学するということは今まではやっておりませんので、できれば事前にこちらに連絡してください。もし当日なら当日でもかまいませんので、言っていただいて。9人のコーディネーターの方には、こういうことで訪問しますということをお伝えしておくので、社会教育委員ですというのを名乗っていただいてという形もありますが、できれば直接ではなくて、社会教育委員として行っていただけたほうが、いろいろ安全上のこととかもありますので、そのほうがありがたいです。

原田副議長 わかりました。ありがとうございます。

小山田議長 福井委員、どうぞ。

福井委員 今、原田委員が言われた質問の資料として、放課後子ども教室9小学校分の市報で掲載された書類、持っているんですけども、私が調べた限り、9小学校区で一番多いのが工作という項目で、8小学校が活動されています。2番目には、同数なんですけれども、読み聞かせが7小学校区、あとスポーツ関係が7小学校区。あともろもろ、手芸とかあるんですけども、例えば、事務局が言われたように、窓口的には読み聞かせ、スポーツ体験とかいっても、必ず、その各種団体のリーダーがおられると思いますから、社会教育委員及び一般市民で協力するといっても、やはりリーダーを通して参加する、見に行くという方法をとらざるを得ないんじゃないかとは思いますが。

今度、見学、視察ということもあるんですけども、例えば教室の中で見て見学するという読み聞かせ、工作、手芸という分野と、あとスポーツ体験というのと2種類ありますから、1日で2種類の校内校外と見られれば理想かとは思いますが、いろいろな順序を追って視察、積極的に行きたいと思えます。

以上です。

小山田議長 ありがとうございます。

そうですね。今スケジュールが来るかと思えますので。ばらばらで行くよりは、何人かで行けたらいいと思えますので、できましたら一度、見たことがないという方は見ていただいて、感想等、また今度の委員会までにまとめておいていただければありがたいかと思えます。

それと、今お話をされていて、あと思ったのが、今後の、次年度になると思うんですが、ほんとうにいろいろな、コミュニティ・スクールとは何ぞやですとか、地域学校協働本部とは何ぞやですとか、そういった話とかを、今回、地域教育スタートアップ講座というチラシが入っておりますが、これは3市と学芸大の連携の講座で、ずっと続いております。この小金井講座に、来年度でも間に合うかと思うので、今年度は決まっていますが、ここにぜひ、コミュニティ・スクールとは何ぞやですとか、コミュニティ・スクールとか地域学

校協働活動について知ろうみたいな、何かそんなようなのを組んでいただくと、市民の皆様にも呼びかけて来ていただいたりできるのではないかとちょっと思いました。来年度に向けてということで、これは多分いろいろ相談してできる講座になっていると思いますので、ぜひ意見として今度、次年度、入れていただけたらなどは思いました。そういったことで、少しずつ何か充実していけたらいいのではないかとこのように思っております。

それでは、この議題につきましては、これで今日のお話と、あと放課後子ども教室、今度皆さんぜひ、見たことがない方は見学に行っていたいただいた感想等をもちまして、また小委員会で一度ブラッシュアップしたいと思います。

ということで、では最初のというか、小金井市の地域学校協働活動についての議題につきましては、こちらで終了させたいと思います。また何かご意見、後で思い浮かんだことがありましたら、ご連絡、メールとかいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

では続きまして、第3次小金井市生涯学習推進計画の評価について（平成29年度分）ということで、こちらは事務局から説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長 前回お配りして、今日お持ちくださいということをお伝えしていなかったんですけれども、差しかえということで、1つは第3次小金井市生涯学習推進計画の評価について（平成29年度分）、1、評価の概要というものが1つあるんですけれども、こちらの、大きい段落でいうと4段落目に「平成28年度と比較すると」というところがあるんですけれども、この平成28年度と比較するとA評価は5事業で変わらずというところが、B、C、Dの前年の評価の事業数が誤っていました。こちらは単純な誤りだったので、修正させていただいております。

それと裏面の2、評価結果なんですけれども、こちら、福井委員のほうで、前年度との比較があったほうがわかりやすいというご意見をいただきまして、右端に評価（平成28年度分）、A、B、C、D、もしくは評価なしと、その隣に評価（H29年度分）という形で併記させていただいております。

それと、ページ振ってなくて、ほんとうにわかりづらいんです

けれども、小金井の居場所づくりとなっている1枚が担当課名、図書館となっているんですけれども、こちら、子ども・若者対象事業数が現状、平成26年度28事業、目標33事業で、平成29年度は25事業だったんですけれども、こちらを、以前お配りしたものはB評価になっていたんですけれども、こちらをC評価という形に変えさせていただいています。もう1枚のページの、さっき2の評価結果とあったんですけれども、こちらの4、子どもの居場所づくり、子ども・若者対象事業数、生涯学習課、図書館、公民館、平成28年度D評価、これを平成29年度C評価に変えさせていただいた関係で変えています。こちらが以前は、なぜここがC評価になっているのかというお話が福井委員からありまして、生涯学習課A、公民館A、図書館BであればB以上になるんじゃないかというお話をいただいて、最度検証しまして、図書館のところはC評価が正しいんじゃないかということで、A評価、C評価、A評価という形になって、トータルとしての事業数でC評価という形にさせていただきました。

以上、報告になります。

小山田議長

ありがとうございました。この資料につきまして、何かご意見等ございますでしょうか。併記していただいて、わかりやすくなったのではないかと思います。

特に何もご意見ないようでありましたら、これはこれで終了ということになりますけれども、何かありますか。

では、この評価につきましては、こちらの資料で変更になったということで、ご承認お願いいたします。

(「はい」の声あり)

小山田議長

放課後子ども教室の見学についてですが、10月、11月と裏面、12月まで入っておりますね。この中で、どこかに1つ行っていただけるとよいのかと。年を越えると、こちらの検討のほうのスケジュールもありますので、できれば、このスケジュールの中のどこかに行っていただければということで、ちょっと個別にスケジュール調整というか、行けたら、一緒に行けたらというのもあると思うので、また検討したいと思います。

原田副議長 これは小堀さんにご連絡したらいいですか。この日のここへ行きたいというのは。

小堀生涯学習係長 そうですね。それか、放課後子ども教室の事業担当が吉楽という職員なんですけれども、私か吉楽に話をさせていただくという流れでお願いできたらと思います。

小山田議長 基本、前日までに、行く学校と行かれる社会教育委員のお名前とを、吉楽さんか小堀さんに連絡をするということで、お願いいたします。

 それでは続きまして、平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第5ブロック研修会についてということで、こちら事務局からご説明をお願いいたします。

小堀生涯学習係長 こちら、右上に8月20日付とあるんですけども、前回の会議に通常でしたら間に合うはずだったんですけども、メールがうまく届いておりませんで、締め切り後に、府中市からの連絡で書類を確認しました。申しわけございません。メールで皆さんにお伝えさせていただいて、出欠のほうも既にとらせていただいているんですけども、一応、当日の出席の予定が小山田委員、原田委員、福井委員、石原委員、石田委員の5名と、あと事務局から関課長と私のほうで出席する予定です。親睦会は小山田委員と原田委員、それと関課長と私と、4人の出席となっております。

 1時半から受け付け開始になりますので、1時45分に5階の受付付近にお集まりいただきたいと思います。よろしくお願ひします。

小山田議長 わかりました。では、行かれる方は1時45分に受付のところに集合ということで、府中市の駅前、京王府中の駅前のようです。ということで、では行かれる方、よろしくお願ひいたします。今回は府中が開催の市ということになっております。では、またご報告したいと思います。

 それでは、その他になりますが、その他の議題で何か。事務局からは何かございますか。特にないですか。はい。では、委員のほうからも特に議題はございませんですね。はい、わかりました。

それでは、議題、審議のほうは終了いたしまして、続きまして報告に行きたいと思います。

まず、小金井市公民館中長期計画策定スケジュールについてということで、こちらは公民館長からですか。よろしくお願ひいたします。

西村公民館長 それでは、小金井市の公民館中長期計画策定スケジュールについてご説明させていただきます。配付資料をごらんいただきながら、お聞きいただければと思います。

現在、公民館では、小金井市の公民館が将来目指すべき公民館中長期計画の策定に取り組んでおります。現状としましては、中長期計画の策定スケジュールを9月の公運審にお示したところで、検討項目といたしましては、資料の作業項目5にございますとおり、公民館の将来像に関することをはじめ、公民館本館の機能に関すること、使用料の徴収に関すること、委託化に関することや地域センター化に関することとなっております。

なお、今後につきましては、公民館運営審議会や社会教育委員の皆さんにも計画案をお示ししながら進めていきたいと考えておりますが、スケジュールとしましては31年度の9月ごろに中間報告後、同年度末までに検討を終了し、市民説明会やパブリックコメントを経て、平成32年度末までに計画を策定する予定となっております。

以上、簡単ではございますが、説明とさせていただきます。

小山田議長 ありがとうございます。何かご質問等ございますか。福井委員、お願いします。

福井委員 5番目の公民館のあり方検討と書いてありまして、2行目に公民館本館の機能の検討ということで黒印で日程表書かれているんですけども、この公民館のあり方検討委員会のメンバーというか、この進め方は、どういう構成メンバーで推進、検討されていくのか、お聞きしたいと思います。

西村公民館長 あり方といいますか、計画自体のたたき台を公民館の事務局で検討して、それを、まず公運審のほうにお示しさせていただきますながら

進めていきたいと考えております。

福井委員 わかりました。

小山田議長 よろしいでしょうか。はい。

ほかに何かご質問はございますか。では、ごさいませんようでごさいましたら、こちらの報告につきましては終了とさせていただきます。

続きまして、その他の報告といたしまして、科学の祭典ですね。報告書を福井さんが書いていただいています、一緒に写真も入っている、すばらしい報告書がありますので、では、この報告、まず福井さんからよろしいでしょうか。お願いします。

福井委員 福井です。お手元の報告書、「青少年のための科学の祭典」で、お手元の資料のとおりなんですけれども、9月23日、東京学芸大学で開催しました。内容的には、今まで生涯学習部、図書館と公民館ということで、3つの各委員が違うブースで出展していて、去年からは、また社会教育と図書館が一緒の部屋でやったということで、公運審が別の離れた教室でやっていたということ、今度は3チームが一緒の1つの部屋でやっというところが、今までと一番違う展示方法だったと思います。

そこで、同じ教室の1教室で、この3つのチームが和気あいあいと運営できたんじゃないかということで、やはり今後も1教室で、こだわることはないんですけれども、社会教育委員と図書館と公民館と一緒に開催して行って、運営していけばいいんじゃないかと思えます。

それともう1点、我々の各部署に都立多摩科学技術高等学校の生徒さんが協力していただきまして、社会教育委員の会議のところにも3人の高校生が協力していただいたということで、非常に運営がスムーズにいったと思います。というのは我々、青少年のためにということなんですけれども、対象のお子様でいえば、幅広く言えば2歳から小学校4年生なんですけれども、小学校2、3年生中心と親御さんが参加されたと思います。したがって、子どもの手づくりというのに親御さんも興味を持たれて参加していただいたということが非常によかったんじゃないかと思えます。

あと、図書館と公運審なんですけれども、公運審もほぼ同じように手づくりという内容でまとめられて活動されたということで、非常によかったんじゃないかと。

あと、残念ながら、図書館のほうは教育関係の科学の本。科学の祭典ですから、科学の本中心に自由に閲覧ということだったんですけれども、少し興味を持たれる方が少なかったということで、できたら図書館の人に、こういう工夫があるんじゃないかということで、その日、私は個人的に提言しておきました。

全体的には、協力者の高校生が子どもの年齢に近いということで協力していただいた仕組みが、初めてじゃないかと思うんですけれども、よかったなと思います。

以上です。

小山田議長

ありがとうございました。

1つ、報告書の中で、社会教育委員参加者で今5名となっていますが、柴田委員も午後來てくださったので、済みません、6名ということで、柴田委員のお名前を追加していただきたいと思います。

福井委員

はい。

小山田議長

では、総括ということで、石田委員のほうで科学の祭典の報告と反省という感じをお願いできたらと思います。

石田委員

今年も科学の祭典で事務局のほうを全面的にするようになりましたので、ブースには手伝いませんでした。申しわけありません。でも、準備はさせていただきましたが。

参加人数が祭典の事務局発表で9,822名。1万人にちょっと足りませんでした。去年は防災も一緒にありましたので1万人を超しましたが。9,800名で、事故もなく、前日からぐあいの悪かったお母様が貧血を起こされて救急車を呼ばれたのと、あと、ちょっと手をすりむいたとか、アリのようなものに刺されて赤ちゃんがちよっと泣いていたとか、そういうことはありましたが、大きなけがはございませんでした。

そして反省会も、私は出られなかったんですが、結構意見は出ていたと思います。事務局としての執行部会と反省を込めた執行部会

は11月5日なので、まだ統括的な意見は出ておりません。

それから前日は、前年までは前夜祭とか懇親会があったんですが、今年は情報交換会で各ブースの方に参加していただいて、いろいろなブース間の相互の話し合いをしてもらおうということだったんですが、予定人数より、急遽参加して下さった方が多くて、学生さんを入れて60名位。そして、市長、教育長、それから商工会が全部仕切ってくださいまして、皆さんの協力のもとで、結構和気あいあいと、いろいろな話をしておりました。情報交換会という目的は達せられたのではないかなと思います。

あと、後ほど福井さんが図書館に委員に言ったという意見を教えていただけるとうれしいんですが。図書館協議会は一応、年3回の開催なので、回数が少ないんです。ですから、その委員がもし休んだり何かすると皆さんに伝わりませんので。なるべく休まないで、そのときは行くつもりですが、教えておいてください。

あと皆さんに、科学の祭典に対する意見がございましたら、ちょっと頂戴していききたいかなと思います。11月5日に執行部会があり、12月、実行委員会がありますので、そのときに、きちっと報告したいと思います。

小山田議長

ありがとうございました。福井委員。

福井委員

福井です。図書館協議会のブースのほうは科学の本を並べていたんですけれども、たまたま我々の社会教育委員の席と公運審の席は子どもが手づくりで遊べるブースであったということで、残念ながら午前中は、子どもさんが科学の本を手を持ったのはほぼゼロだったという状況でした。昼休みに図書館協議会委員の方に、やはり図書館としても、子どもが手でもって遊べるような工夫も必要じゃないかということで、理解していただいているんですけれども。例えば画用紙が6つ、7つ、縦に並んだ格好で絵があって、階段形式で開いていくとストーリーになるというやつが、題名は忘れたんですけれども、具体的に紹介したら、当然、図書館の関係の方は皆さんご存じでした。そういう手で遊びながら、6つぐらいの画用紙を縦に並べて、1段ずつ開いていくとストーリーが終結するようなものをやれば、各ブースとも、子ども自体も参加しやすいし、興味を持つんじゃないかと。絵本の紙芝居というもの、あくまでも子どもは

受動的なスタイルになるということで、やはり手でさわって遊べるという工夫も、図書館チームとしておこなったらどうかということ提言したという内容です。

以上です。

石田委員 ありがとうございます。伝えます。

小山田議長 去年まではしおりづくりをされていたと思いますが。あれは、人気あったんですね。

石田委員 はい。去年はしおりづくりで、ただ、今年、そのしおりづくりの中心だった委員が卒業してしまいましたので、それができなかったんですね。ということで、それ持ち帰って報告します。

小山田議長 ほかに何かご意見等、参加された方、ありますか。

原田副議長 私は3回目の参加なんですけれども、毎年同じ出し物で、お客さん減るんじゃないかなと心配していたんですけれども、杞憂でありまして、子どもはどんどん入れかわるんですね。去年来なかった子が大きくなって来ているということで、3年間、大人気です。たまたま、うちの近所の親子が来ていまして、子ども2人連れて。何かその日、行くところがなくて、ネットで見たら出ていたんですってね。スマホで、小金井市の催し物というので。来年から原田さん、日にち教えてくださいとかと言われて、大変満足して帰っていました。

以上です。

石田委員 そうですか。事前に小金井市の全生徒にチラシを配っているんです。1年生からすべて。

原田副議長 そのお宅は、まだ幼稚園だったので。

石田委員 幼稚園も、小金井市内の幼稚園を、幼稚園の管轄している係のところから全部入れていただいているので。来年はもうちょっと、じゃあ徹底するように言います。ありがとうございます。

小山田議長 ほかにはいかがでしょうか。はい。

石原委員 私も今年で2回なんですけれども、知り合いの方がお子様を連れて見えていて。それからほかの方も、お子様は今ほかのところに行っているんですけども、すごくおもしろそうだから、これだけ欲しいと言われる方もいらして、差し上げましたけれども、すごく人気があるって、座るところが、もうぎりぎりなんです。そうしたら、ほかの席まで見つけてきて、あそこでいいですかという形でつくっていらして、毎年好評ですね。同じことをやっているんですけども、先ほど原田委員がおっしゃったように、来られる方は違う方なので、すごく好評でよかったなど。来年も同じ形でいいんじゃないかなとも思ったぐらいです。ありがとうございます。

石田委員 今年、画用紙をいっぱい印刷してしまいましたので、結構そのまま残っているんです。それで、前に委員たちに集まっていたいて、形をカットして、それから折り目を全部入れていただいて、折りやすいようにしていただくという作業をしていただいているんですが、それもよかったんですね。また来年そのまま使える分だけの材料は残ってまして、石田が預かっております。

石原委員 来年度はまた私は実は卒業になるので、ぜひ継承して続けていただけたらと思います。社会教育委員は、あれ一本で、しばらくはいいのかなと思ったりもします。

石田委員 私たちは前からやっていますよね。

石原委員 前の代からずっとやっている内容なんですけれども。ほかにも何か別なことも3つぐらいやった時期もあるんですけども、やはり、もう1つでいいんじゃないかと、今、一本化しております。

あと、線引いたりとかカットしたりの作業が、ほんとうは、もうちょっと事前に、ためてやってられたらよかったのにとと思います。当日の午前中みんな集中して、必死でやっていたので。先に折り目とかつけられたものが、もうちょっとあったらよかったかなと思いましたが、ぜひ次年度、事前準備のほう、よろしく願いしたい

かと思えます。

小山田議長 ということですが、ほかに何かございますか。よろしいですかね。
では、科学の祭典の報告につきましても終了させていただきます。

石田委員 ありがとうございます。

小山田議長 ありがとうございました。
ほかに、その他で何かございますでしょうか。では部長、お願いいたします。

藤本生涯学習部長 生涯学習部のほうから報告したいと思います。

まずその前に、科学の祭典の9月23日、大変盛況で、全部で9,800人以上来られたということで、関係者の皆さん、ほんとうにありがとうございました。あと中学生もボランティアの方がかなり参加してまして、それぞれ、勉強になったということで話しておりました。事故もなく開催できてよかったと思っています。

それで生涯学習部から、私のほうから議会関係についての概略を報告させていただければと思います。

第3回定例会なんですけれども、こちらは8月30日から10月5日まで開催をいたしました。そのうち決算委員会が9月27から10月3日ということで、大変長丁場だったなと思っています。

それで、生涯学習部関係の各議員さんからの一般質問なんですけれども、小林議員からは桜に関する課題とか、あと東京2020ロードレースの関係ですね。そちらの関係の質問がございました。こちらのロードレースにつきましては、前回の社会教育委員の会議のほうに報告した内容どおりになっています。また桜に関する課題につきましても、計画どおり進めていくとお答えしています。

そのほか、沖浦議員からは、図書館と学校図書館についての質問がございまして、こちらのほうについても検討するものは検討していくということで回答しております。

あと岸田議員からは、放課後子ども教室について質問が何点かございました。こちら、先ほどの内容とも一緒になるところもあるんですけども、まず放課後子ども教室についての手引関係。今その手引ってどういうふうになっているのかという質問があり、手引作

成に当たっては小委員会を中心に原案を作成して、実行委員会だと
か運営委員会を通じてコーディネーターから現場の推進委員さん、
ボランティアスタッフに随時情報共有がなされていると認識して
いますが、全体共有を図ることにつきましては、放課後子ども教室
の事務局として、さらなる丁寧に、これからも説明を行うなど課題
もあったということは認識しているので、これからも丁寧に行って
いきたいということでお答えしています。

それと、放課後子ども教室の開催状況について、各学校平均する
と週2回程度の開催とのことなんですが、担当としてはどう考えて
いるのかということでした。回答としましては、放課後子ども教室
の目的として、放課後の子どもの安全・安心な居場所づくりであり、
小金井市の現状で見ると決して十分なものであるという認識はな
いけれども、課題はさまざまある中で、地域の実情または地域のニ
ーズなどを考慮して、関係者と随時協議等を重ねながら、放課後子
ども教室をより多く開催できるように、充実した活動に向けて検討、
協議、調整をしていきたいと回答しております。

また、そのほか、ボランティアスタッフの謝礼の単価について
の見直しということも質問されました。こちらにつきましても、他市
の状況を勘案しながら今後検討していきたいと、そういうふうに答
えております。

そのほか、放課後ビジョンの策定についてでありますとか、地域
学校協働活動についても質問がございました。それで、先ほどお答
えしたんですけれども、教育委員会の現在の考え方としては、先ほ
どの4点の基本的な考え方を通じまして、今後も検討していくと答
えております。

そのほかは、河野議員から清里山荘についての設備関係の質問で
したり、上水公園、市営グラウンドの設備の関係についても質問が
あり、こちらについても、検討できるものは検討して対処してい
きたいと答えています。

そのほか、渡辺大三議員や片山議員からは、図書館、公民館につ
いての質問がございましたけれども、この間も、こちらの会議で説
明してきているとおりの内容、経過があると説明しております。

以上が、こちらのほうのご報告になります。

小山田議長

課長から報告があるそうです。では、よろしく願いいたします。

関生涯学習課長 それでは報告、その他ということで、ちょっと宣伝というか、させていただきますと思います。生涯学習課、文化財係を所管してございまして、3点、この場をおかりしてお話しさせていただきますと思います。

まず1点目です。このたび、市制施行60周年を記念しまして、国指定名勝の小金井桜のクリアファイルというのを作成いたしました。このクリアファイルは、当時の明治時代の写真に色づけをした2種類の手彩色写真というものと、あと著名な浮世絵師である歌川広重が小金井桜を描いた2種類の錦絵の合計4種類でございます。いずれも当時の華やかであった小金井桜を現代に生き生きとよみがえらせたものでありまして、市制施行の60周年記念するものとしまして、ぜひとも多くの方に手にとってもらい、小金井に愛着を持ってもらえば幸いということで、このたびの発売でございます。

10月7日から、一部250円です。全部4枚買っていただくと1,000円ということで、大変リーズナブルになってございますので、ぜひともご覧になって帰ってください。生涯学習課の窓口でも売ってございます。あと文化財センターでも、もう販売してございます。昨日、一昨日の市民まつりの中でも、売らせていただきました。多くの方に買っていただいたところでございますというのが1点目でございます。

2点目が、同じく市制施行60周年事業記念としまして、市民提案型協働事業であります昭和の小金井写真展です。内容としましては、市報から見た昭和の小金井の様子をうかがえる写真展でございます。こちらは20日の土曜日から、期間は24日までで、10時から6時までです。最終日は3時までなんですけれども、宮地楽器ホールのマルチパーパススペースというところで開催してございますので、ぜひとも、お帰りがけに見ていただければと思います。昭和の当時の小金井の様子が生き生きと、さまざまな観点で写真展開催してございますので、ぜひともお立ち寄りいただければ幸いです。

最後でございます。「小金井の絵図」展。これは文化財センターの企画展、「小金井の絵図」ということを開催する予定です。これは、文化財センターで開催する恒例の秋の企画展であります。こちらも同じく市制施行60周年記念及び明治150年、東京150年。

江戸から明治になって、江戸から東京になって、今年で150年でございますので、その記念事業として位置づけられた特別展示でございます。展示では、文化財センターにおいて所蔵されている江戸時代以降のさまざまな古い地図類を展示する内容となっております。

今回の展示の中で大きな目玉というのが、大きさが3畳分ある3点の村絵図となります。明治時代に初期に作成された村絵図でございまして、小金井村で1点、貫井村で2点が、これまで大切に保管してまいりましたが、このたび市制施行60周年を記念して初めて公開されることとなります。期間につきましては、11月1日から12月24日まで開催してございます。

以上申し上げたことは市報の10月1日号の1面で掲載してございますので、そちらもあわせてごらんいただければと思います。以上でございます。

小山田議長 図書館長、お願いします。

菊池図書館長 続きまして、図書館からお知らせさせていただきます。今日お手元にお配りしました図書館だより48号の1面に、出ておりますけれども、図書館としても、市制施行60周年記念事業としまして、写真展示を必ず行います。図書館では、平成2年から定点撮影ということで、毎年10月1日を基準日としまして、同じ場所、定点を撮影してきてまいりました。その写真をパネルにしまして、その移り変わりを見ていただければということで展示をいたします。期間が、あすの23日から12月28日金曜日までということで、少し長目を設定しまして、場所がちょっと狭いので、その期間、何度か写真を入れかえて展示をさせていただくということを考えております。1階から2階に上がる階段の壁付近を中心に展示いたしますので、ご来館の際には、ぜひ、ごらんいただければと思います。以上になります。

小山田議長 ありがとうございました。
あと事務局のほうから、お願いします。

小堀生涯学習係長 2点ありまして、1つは、先ほど議題2の小金井市の地域学校

協働活動についてで小山田議長が触れてくださったんですけれども、A4、1枚の総合教育政策局の新設（再編の概要）というものがありまして、こちら、説明会に行ったときの資料なんですけれども、文科省の再編ということで、9月28日閣議決定、10月3日公布、10月16日から組織改正ということで、組織の再編がありました。

説明の中では、現在の社会教育課が地域学習推進課になり、コミュニティ・スクールが地域学習推進課に移ってきたそうです。これによって地域学校協働事業とコミュニティ・スクールの両輪となり、1つの部署で、こちらの所管をすることになったということです。

文科省のホームページのほうを見ましたら、総合教育政策局の設置についてということで、トップページから行けるところに、その内容が書かれておりますので、もしご興味がありましたら、ごらんください。それが1点です。

次、資料の最後に今後のスケジュールというのをA4、1枚、入れさせていただきます。10月27日は、もう出欠もっておりますのが、先ほど説明した第5ブロック研究会。そして11月15日は三者合同会議。こちらは関東甲信越の社会教育研究大会とかぶってしまいまして申しわけなかったんですけれども、11月15日木曜日10時から11時半、801会議室になります。

予定として、12月15日土曜日、都市社連協交流大会・研修会、13時45分からの予定で、武蔵野公会堂で行われます。

年が明けまして平成31年1月28日月曜日、第7回社会教育委員の会議、9時半から801。

第8回の社会教育委員の会議は日程調整中です。3月、議会月でもありますので、再度調整させていただいて、ご連絡したいと思います。

年度がかわりまして、4月20日土曜日が都市社連協定期総会、武蔵野公会堂で午後開催予定です。

以上です。

小山田議長

ありがとうございました。ということで、社会教育委員の会議は今度、もう年内は実はこれで最後だったということで、三者合同ですとか、そういったところでお会いすると思うんですが、本会議は年明けの1月28日になります。それまでに、年明け、小委員会は

行おうと思っているんですが、先ほど申しあげましたように、この日までにというか、年内に放課後子ども教室の見学へ行かれる方は行っていただいて、何か感想をまとめておいていただけたらと思います。

他にありますか。

藤本生涯学習部長 最後にすみません。決算委員会がありまして、一般会計、特別会計、それぞれ29年度の決算でした。一般会計が不認定になっております。それぞれの会派のいろいろな理由はあるんですけども、賛成が5ぐらいだった。あとは全部反対ということで、不認定ということになっておりますので報告いたします。

小山田議長 では以上をもちまして、第5回の社会教育委員の会議を終了とさせていただきます。では、どうも皆様ありがとうございました。